

## 2019 年度 事業計画

役職名	拡大・広報委員会 委員長	氏名	板元 幸仁
<p>霧島 J C は、創立以来この地域に住み暮らす青年がまちのことを考え様々な政策を立案し実行する中で地域に周知する広報も行っていますが、共感を広げられず浸透していない現状があります。霧島 J C が地域に共感の輪を広げていくには、率先して行動する J A Y C E E となり効果的な広報を継続的に行う基礎を確立するとともに、共に運動を推進する仲間を多く増やしながら、団結して行動できる力強い組織を継続していく必要があります。</p> <p>まずは、率先して行動する J A Y C E E となるために、例会等を活用し J C の目的と存在意義を再確認し会員の意識統一を図り J C の運動に自信をもつことで、地域を変える人財となります。そして、効果的な広報を継続的に行う基礎を確立するために、市民の情報取得方法を閲覧時間・媒体・既読記事など細部項目に分けて年代別に調査を行い広報の基盤を構築して戦略的な情報発信を実践することで、J C の認知度を向上させます。さらに、共に運動を推進する仲間を増やすために、W e b 広報を継続し他の W e b 媒体や地域の首長や経営者の方に政治・経済の内容で取材を行い広報誌の作成などターゲットに合わせて的確に情報を伝え、地域に対して共感の輪を広げます。また、会員が団結して行動するために、当委員会が明確な目標を掲げ積極的に会員拡大に取り組み結果を残す中で各会員に役割を依頼し、責任と覚悟が備わる拡大の意識を醸成します。そして、力強い組織を継続するために、各委員会と連携を図り様々なコンテンツを立案し我々の運動に共感する仲間を熱意と行動量をもって入会へと導き、まちの発展に向け影響力のある組織となります。</p> <p>地域を変える人財となり J C の存在意義を高め行動し、地域へ J C の認知度を向上させ共感の輪を広げ、共に運動を推進する仲間と責任と覚悟を兼ね備えた同志を増やし、まちの発展に向け政策を立案・実行し続けていくことが影響力のある組織となると確信します。</p>			